

平成22年度 地域発 元気づくり支援金【南信州地域事業】の優良事例を選定しました。

平成22年度に「地域発 元気づくり支援金」の交付を受けて南信州地域で実施された131事業の中から、事業成果や他地域への波及効果などが特に優れ、今後の地域づくりのモデルとなる優良事例6事業を選定しました。

1 選定事業

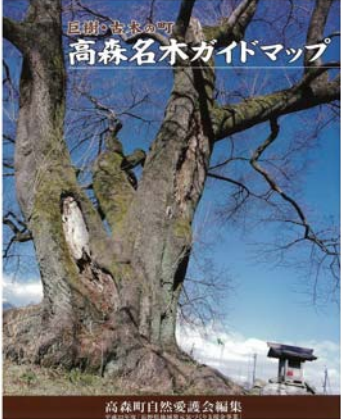
◎知事表彰（1団体）

◆「うるとら手打ちそば」宅配事業【うるとら軽微隊（天龍村）】


<p>事業内容</p>	<p>地域住民との交流が不足がちな高齢者と交流を図るため、そば打ち道具を購入し、隊員自らが栽培・収穫し、隊員自らが打ったそばを、村内110の高齢者世帯に届けた。 ・事業費161千円（支援金額 161千円）</p>	
<p>選定のポイント</p>	<p>村を支えていく世代が自ら率先して様々なボランティア活動を行ってきたが、今回は遊休荒廃地でそばを栽培し、自らの手でそばを打ち、地域の高齢者にそばを届け、会話をして高齢者との交流を図り、地域で見守る安心感を与えている。 こうしたボランティア活動が継続して取組まれていることで、地域における支え合いの意識が徐々に醸成されており、高齢化が進む中山間地域における地域づくりの新たな取組みとして非常に高く評価できる。</p>	

◎地方事務所長表彰（5団体）


◆生命の交差点～巨樹・古木マップづくり事業【高森町自然愛護会（高森町）】

<p>事業内容</p>	<p>町内の巨樹、古木、希少種木など将来に亘って保存し育てていくべき樹を選定し、マップにまとめるとともに、標識を作成し標識設置に伴って学習会を開催し、町民に周知を図った。 ・事業費1,426千円（支援金額 1,426千円）</p>	
<p>選定のポイント</p>	<p>地域内の巨樹、希少種木などのガイドマップ作成により、地域で守るべき資源を掘り起こし、後世にその価値を残そうとする活動となった。 また、巨木の標識を子どもたちと一緒に設置することで、守るべき資源と認識させる活動は、将来を担う子どもたちに自然を大切に育てる、身近な資源を活用した環境学習として高く評価できる。</p>	

◆「満蒙開拓歴史展」の開催【満蒙開拓平和記念館事業準備会（阿智村）】

<p>事業内容</p>	<p>下伊那地域の農村から多くの人々を送り出した満蒙開拓をテーマとしたシンポジウムや資料の展示、語り部による体験談を発表する歴史展を開催することで、先人たちの持つ貴重な体験や歴史を学ぶ機会を提供した。</p> <p>・事業費1,780千円（支援金額 1,750千円）</p>	
<p>選定のポイント</p>	<p>今まで語られることのなかった悲慘な満蒙開拓の歴史を県内外延べ1,800名に知ってもらう機会を提供することで、平和の大切さを将来に向け、伝え残した活動となった。</p> <p>また、歴史展終了後も県内各地でパネル展を開催するなど、継続した取り組みが行われており、高く評価できる。</p>	


◆平谷村の地域特性（気象・地形）を活かした農業づくり研修所の設置【農事組合法人 平谷村農業生産組合（平谷村）】

<p>事業内容</p>	<p>平谷村の季節特性（夏の涼しさ冬の厳しさ）を活かしたイチゴ苗を栽培する農業従事者を育成し、新たな産業として拡大するため、イチゴ苗栽培用の農業従事者育成研修施設を建設した。</p> <p>・事業費3,800千円（支援金額 2,000千円）</p>	
<p>選定のポイント</p>	<p>平谷村に定着した農業従事者はまだないものの、研修施設で栽培したイチゴ苗の販売が好調で、少子高齢化が進む地域の新たな産業に成長しつつあり、地域活性化の取り組みとして高く評価できる。</p> <p>現在も県外から研修生を受け入れており、地域へ定住して農業従事することが期待できる。</p>	

◆うまい！うるぎ米でひっぱり隊事業【売木村観光協会（売木村）】

<p>事業内容</p>	<p>地元のうるぎ米を使用したライスコロッケを各種イベントで販売出来るよう、フライヤー等の機械を導入するとともに、オリジナルのイラストを使ったパッケージやシールの作成を行い、売木村とうるぎ米のPRを行った。</p> <p>・事業費876千円（支援金額 722千円）</p>	
<p>選定のポイント</p>	<p>パッケージやシールに地元高校生のイラストを採用し、地域特産品のブランド化を図り、県内外の各種イベントで販売することで売木村とうるぎ米を広くPRした。</p> <p>さらに、購入者の要望に応えるため、村内で通年販売できるよう取組んでおり、地域と特産品をPRする活動として高く評価できる。</p>	

◆長寿カルタづくり～百歳からの贈り物～【NPO法人あんじゃネット大鹿（大鹿村）】

事業内容	高齢者が持つ生活の知恵や、尊い日常の一言をカルタにまとめ、幅広い世代が参加できるカルタ大会を開催し、世代間交流を図った。 ・事業費644千円（支援金額 584千円）	
選定のポイント	高齢者が持つ生活の知恵など大切なものを後世に残すとともに、継続的にカルタ大会を開催することで、世代間交流が図られ、高齢者への思いやりの心が醸成されてきている。 また、各種イベントでカルタを積極的にPRし、元気な大鹿村を発信している点も評価できる。	

2 表彰及び発表会の実施

下記のとおり、今回選定された事業の表彰と事例発表会を開催して、事業の内容や成果をご紹介します。

また、県の広報などを通じて、広く事業の紹介をしていきます。

記

(1) 日 時

平成23年11月2日(水) 13:00～16:00

(2) 場 所

飯田合同庁舎3階 講堂

(3) 内 容

ア 優良事例の表彰

イ 優良事例発表会

ウ 記念講演：高橋寛治氏（前和歌山県高野町副町長）

「私たちの共通の未来へ」－住み続けられる地域へ向かって－

下伊那地方事務所 地域政策課 企画振興係
(課長) 熊谷 和史
(係長) 林 俊秀 (担当) 湯本 健一
電 話：0265-53-0401 (直通)
F A X：0265-53-0404
E-mail：shimochi-kikaku@pref.nagano.lg.jp